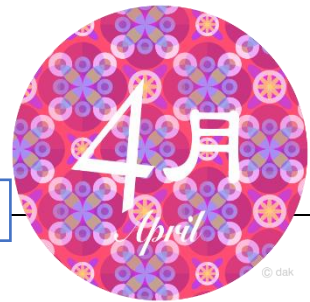


協会ニュース



2023

高橋邸の活用 -グループホームと日中活動支援-

1. こだち別館移転

すでに今年度の事業計画などでお伝えしておりましたように、今まで地域活動支援センタージョイとして活用していた「高橋邸」は今年度5月1日よりグループホーム「こだち別館」の移転先としてスタートすることになりました。建物の構造上の都合から定員3名からは2名になり、グループホーム事業全体の定数も55名から54名になります。

新しいこだち別館は、特に浴室環境が整っていることや広い庭があることで利用者の方々にはさらに快適な生活が提供できていると思っています。

この庭には立派な梅の木が2本あり、昨年もたくさんの実がなりました。

収穫した実を加工し、菜果で活用させていただいています。

その他の空きスペースも上手に活用していこうと思います。

現在の「こだち別館」とは、数軒お隣なので、引っ越しも比較的容易ですが、ちょうど10年経ちましたので、この機に荷物の整理をして再スタートの準備をしています。



旧別館



新別館

2. グループホームの利用状況

こだち別館の定数減のほかに、グループホームの利用状況は様々な変化がありました。昨年度から3名の方が亡くなられましたし、体調などを考慮しより利用しやすい条件の部屋に引っ越しをする方、一人暮らしを目指して退居を検討している方、老人ホームの申請をした方…など生活していれば様々なことがあり、退居された方もいます。また、以前から利用を希望していて、予定通りの入居になった方もいれば、突然の事情により家族との生活に見切りをつけて入居になった方もありました。ご本人やご家族も望んでの利用の方もいれば、十分な決心がついていないままの利用になった方もいます。

しかし、「住めば都」「立って半畳、寝て一畳」というようにどんな環境であれ、自分の生活の場にしていくたくましさを皆さんから感じます。



3. 日中活動の見直し

日中活動の支援においては、地域活動支援センタージョイの活動を見直し、「こだち」と併設のジョイ3の活動をさらに充実させることにしました。

現在の障がい福祉サービス体制では、より自立度が高い方には就労することでさらなる自己実現を目指していただくことになっていますが、皆さんのニーズに答えきれてはいません。また、障害の重い方には地域活動支援センターや生活介護などのサービスで対応することになっていますが、これも質量ともに障害の状況や個性に対応しきれていません。

当法人の利用者の方々にもその状況は見られており、この機会にできることから始めることにしました。まずは自分でできることが



ある方には、環境整備や仕組みづくりをして、自分でできることを増やしていただきます。

そして声掛けや見守りが必要な方に職員の時間をかけるようにします。そのため、日頃のミーティングや研修等で職員のスキルアップを図り、利用者それぞれのニーズに応じた役割の見直しを行います。

そのなかから次の支援の形を探っていきたいと思っています。



4. これからの活動

冬期間お休みしていた「弥七農園」の活動も再開になりました。新たな参加者を募ったりしながら継続させていきます。また、菜果が取り組んできた「コーヒーかすたい肥」も商品化されることが決まりました。たい肥の販売については地域のコーヒー店「ラバーズ・コーヒー」さんが行います。どちらの活動も直接売り上げになっているわけではありませんが大事なことは「地域連携」です。

4ページの「ひとこま」もご参照いただきたいのですが、「サービス事業」として提供される支援では得られない、これらの活動だからこそ得られるものがそこにはあるのだと思います。

支えてもらうだけではなく、「売りにげに協力する」、「ゴミを減らす協力をする」などの双方にメリットがある関係を増やしていきたいと思います。

今は「弥七農園」「たい肥作り」と農福連携を意識した活動ですが、地域には接客、芸術、創造などに関心を持つ方もおられ、その分野の方々から得られる新しい連携も探っていきたいと思っています。



日中活動場所の変更



今まで「高橋邸」を日中活動の場として使用させていただいていましたが、今回グループホームとして利用することになりましたので、活動場所をこだちに変更することになりました。

これに伴い、より個人の課題に取り組めるように工夫しています。

用具も分かりやすく
まとめてあります。



予定表は前日にスタッフと
確認しています。



割りばし作業



洗濯作業

今まではスタッフと二人三脚で活動していましたが、この機会に利用者の方にもステップアップして頂き、自分自身で予定を組み立てたり、翌日の準備をすることでより自立度の高い活動になるように支援していきたいと思っています。

活動報告

- 2023 桜の花は早かった -

フォト日記 ジョイ2

～満開の桜

インお諏訪さま～

チェリーフロッサム、
さくら並木、さくらの宴、
愛(め)でるさくら、
さくら風吹、さくら湯、
さくら餅、楽しみ方は、
色々あれど、私はお団子
も好きですと、お諏訪さ
まはおっしゃっています。



おうい、〇〇さん、これ何て書いて
あんの？

ムムム… 桜の花に聞いてみっせ～

フォト日記 ジョイ3

お花見会・本番編

春うらら

今日もおいしい

花見弁当??



今年の桜もきれいだね～

来年もみんなと一緒に見たいものですね～

ひとコマ - ジョイのひとコマ(お店編) -

週2回ジョイに通所している O さんは買い物が大好きです。

ジョイに来た時の小遣い千円はセブンで使い切ることが多く、漫画かスリッパの他に飲み物と菓子を組み合わせ千円になるよう計算し、何度もレジに並び買い物をします。消費税があってもほぼ所持金全額を使いきるように、お釣りなしの買い物を狙っているようで、彼の計算能力にはとても驚かせられました。(いつものことですが…流石です)

彼は言葉でのコミュニケーションが難しく、ジョイ利用当初は、スタッフが買い物支援をしていました。

しかし、彼が何度か来店するうちに、コンビニ店員 S さんは O さんの特徴を理解してくれて一円単位の商品を返品や交換をしたり快く対応してもらえるようになりました。

レジが込み合う際は「お待ちくださいね!」「隣のレジ開けます」と後ろのお客様に声をかけて、O さんのペースに合わせて対応してくれています。



また、近くの喫茶店 D では決まってカレーセットを注文します。メニュー表を指で指すだけの注文方法ですが、慣れた店員さんはセットメニューの中からアイスコーヒーとサラダを選択して、O さんの席まで運んできてくれます。言葉によるコミュニケーションが苦手な O さんですが、何か物を尋ねられると、目で意思表示をしているようなのです。きっと、セットの付属品の好みを理解してもらうまでは、目でのやり取りが何度もあったのだと思います。来店を重ねることで、店員さんともそういう意思疎通ができるようになっていくのだと思います。

カレーセットは、11時からのメニューと決まっているため、早く店に入ったジョイのメンバーは30分も飲み物だけで待たせてもらっています。そして、お店の方の内緒の配慮によって11時前にカレーが運ばれてくるのです。

これらのお店は O さん以外にも、「最近、U さんの姿が見えませんが…体調は大丈夫ですか?」など声を掛けてくれたりもします。こんなふうに神対応をしてくださる 2 つのお店を利用することができ、ジョイのメンバーは安心と満足感を得ています。地域で生活するには、色々と困難なこともあります。理解してくださる地域の方々の方々の存在に支えられながら、自分らしい生活ができることを祈りたいと思います。



(掲載の花々は新別館の花です。)



編集後記

新年度になりました。当協会も GH が移転したり、日中活動の形を変えたりしています。それは利用者の方の様々な課題に取り組めるようにするためです。少しでも支援が充実するように今年度も邁進してまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。(T)

